

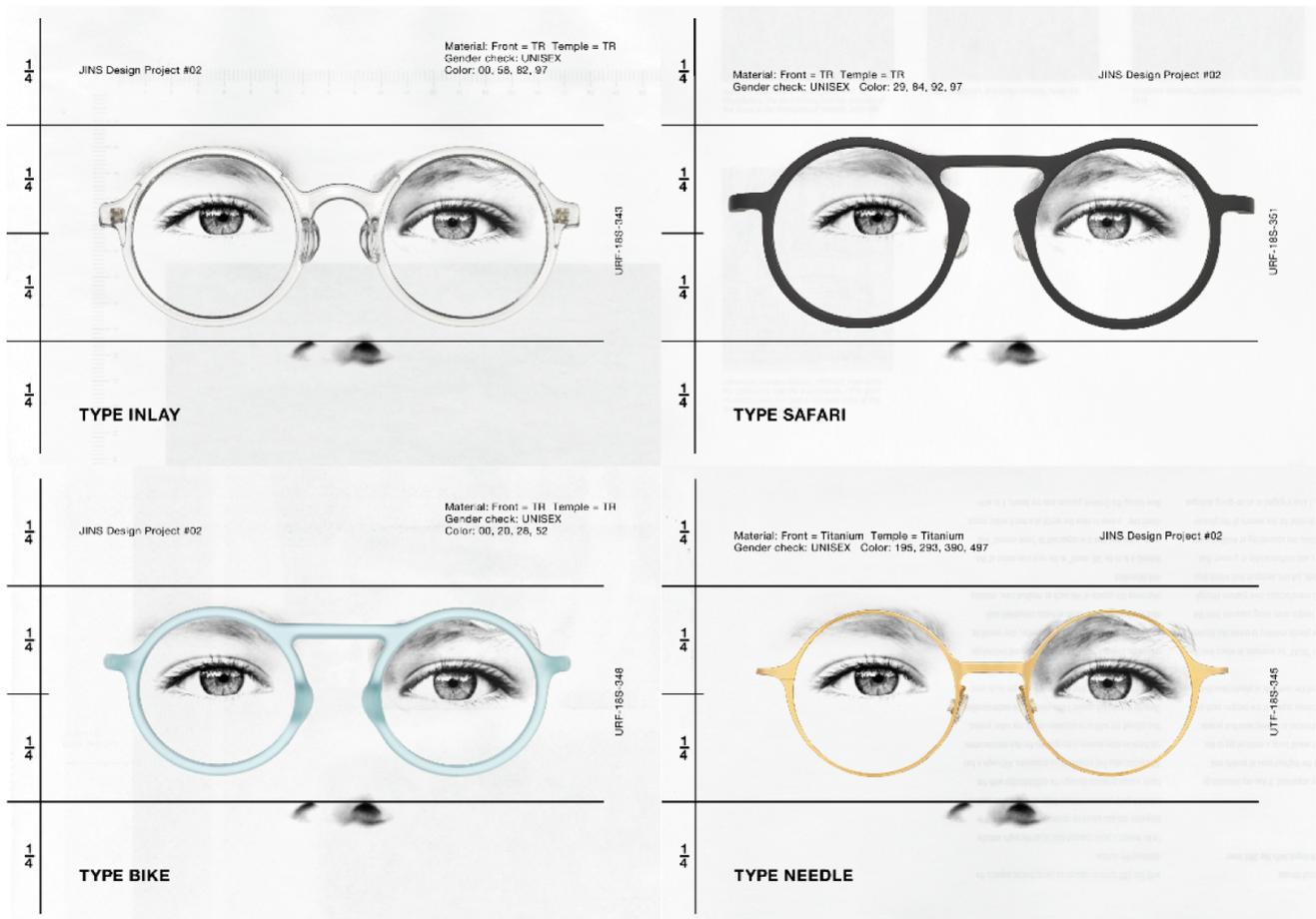
JINS

世界的デザイナーたちとともに “メガネの本質からデザインする”

「JINS Design Project」第2弾

世界的プロダクトデザイナー コンスタンティン・グルッチを起用

全8型32種のラウンド型メガネを2018年6月14日（木）より発売



株式会社ジンス（東京本社：東京都千代田区、代表取締役CEO：田中仁、以下JINS）は、“メガネの定義を問い直し、メガネの本質からデザインする”をコンセプトに「JINS Design Project（ジンス デザインプロジェクト）」に取り組んでいます。

2017年10月には、第1弾としてJasper Morrison（ジャスパー・モリソン）と協業したメガネを発売。

続く第2弾として、世界的に活躍するプロダクトデザイナー Konstantin Grcic（コンスタンティン・グルッチ）と協業したメガネを2018年6月14日（木）より、全国のJINS店舗およびJINSオンラインショップ（<https://www.jins.com>）で発売します。

メガネの起源、ラウンドのもつ背景に着目

今回協業するのは、ドイツを拠点として世界的に活躍するプロダクトデザイナー、コンスタンティン・グルッチ。彼自身15歳からメガネをかけていますが、メガネのデザインは初めての取り組みです。彼は、メガネに関するリサーチを重ね理解を深める中で、メガネの起源のかたちであり、歴史上多くの著名人に自分らしさを際立たせるアイテムとして選ばれてきたラウンド型に着目。ラウンド型は「アノニマス、ベーシックでありながら同時に強いステイトメントを秘めているかたちである」という考えのもと、ラウンド型のみにもベースを絞り、現代的解釈を加えることで、8型もの多様なスタイルを持ったデザインを生みだしました。

JINS渋谷店では特別展示や数量限定メガネケースも

また発売を記念して、旗艦店であるJINS渋谷店にて、コンスタンティン・グルッチがデザインしたメガネケースを数量限定で販売します。さらに2018年6月15日（金）～7月16日（月）の期間、同店2階のイベントスペースにて「JINS×Konstantin Grcic Exhibition」を開催。デザイン過程におけるスケッチや3Dモックアップなどが展示される貴重な空間となっており、インタビューなどをまとめたブックレットも本展示ご来場者様限定でお持ち帰りいただけます。

JINS Design Projectに取り組む背景と想い

“Magnify Life（マグニファイ・ライフ）＝人々の人生を拡大し、豊かにする”をビジョンに掲げるJINSは、2001年にアイウェア業界に参入し、“機能性アイウェア”という新市場を創出するなど、業界にイノベーションを起こしてきました。デザインという側面からも常に新しい取り組みを続け、著名なデザイナーや建築家、クリエイターとも協業しながら商品や店舗、ワークスペースなど多角的に新しい価値を生み出し続けています。

誠実で妥協しない製品をつくり、人々に喜びをもたらしたいと考えるJINSにとって、メガネにおけるデザインの持つ役割は非常に重要です。メガネのデザインは、快適なかけごちを左右するだけでなく、かける人の印象を大きく左右し個性の一部となり、かける人の心にも作用するものであることから、常にメガネのデザインを追求し、デザインの可能性を拡げていきたいと考えています。

そんなJINSが、昨年より始動したJINS Design Projectは、これまでのメガネの定義を問い直し、形状や素材から再構築することで、これからの時代に価値あるメガネをつくり出していこうとする取り組みです。第1弾、第2弾以降も継続的なプロジェクトとして、世界的デザイナーと協業した商品を発表していく予定です。JINSは、独自のアプローチで多くの人の生活を豊かにしてきたデザイナーたちとの対話を通じ、これからの時代に価値あるメガネを生み出し続けます。

独自のテンプレートに描くことで生まれた8種の多様なスタイル

コンスタンティン・グルッチはこれまで、不要な要素はそぎ落とし、意義を持ちながらもシンプルで、より多くの人々に使ってもらえる高品質のプロダクトを生み出してきました。そんな彼にとって異なる一人ひとりの顔にフィットするメガネをデザインすることは、非常にチャレンジングな取り組みでした。

メガネの起源と切り離せないベーシックな存在であると同時に、アイコニックで象徴的な存在でもあるラウンド型にベースを絞ったのち、彼はできる限りのアイディアの可能性を探ろうと考え、まず「眼」の部分を描いたテンプレートに、好奇心に導かれるままにさまざまなフォルムをペンで描き、検討を重ねることで8つのデザインにたどり着きました。有機的、幾何学的なフォルム、既存のメガネの再解釈を試みたものなど、アプローチも異なり、それぞれにコンセプトを表すネーミングがつけられています。

JINSと対話を重ねる中で、メガネを手にした際にデザインに込めたエモーショナルな面を実感してもらえる、美しいディテールの実現を目指し、製品としての最高のクオリティとのバランスに細心の注意を払いながら何度も修正を行いました。美しさと快適なかけごちを両立するための最適な素材や仕様など、JINSの知見も最大限生かされています。今回のデザインプロジェクトを通して、JINSはメガネを実現する姿勢や技術のうえで、医療、モビリティ、教育など、生活の質の向上に関する広い世界に目を向けるあらゆる分野に進んでいく企業であると実感し、より広い世界に目を向けることの大切さを感じたプロジェクトになったグルッチ氏は述べています。

JINS × Konstantin Grcic 商品概要

商品名	JINS × Konstantin Grcic
ラインアップ	8型32種
発売日	2018年6月14日（木）
価格	¥5,000（+税）、¥8,000（+税）、¥12,000（+税） ※度付きレンズ代込
付属品	メガネケース、セリート
販路	全国のJINS店舗、JINSオンラインショップ (https://www.jins.com) ※一部商品は展開店舗数が限られます。
特設サイト	https://designproject.jins.com/jp/ja/

JINS渋谷店限定メガネケース商品概要

商品名	JINS × Konstantin Grcic 限定メガネケース
ラインアップ	1種
発売日	2018年6月14日（木）
価格	¥1,900（+税） ※メガネとのセット販売ではございません。単品での購入が可能です。
販路	JINS渋谷店
販売数	50点



首からかける布製ポーチタイプのメガネケースです。コンスタンティン・グルッチによる描き下ろしのドローイングがプリントされています。

JINS × Konstantin Grcic Exhibition 概要

名称	JINS × Konstantin Grcic Exhibition
期間	2018年6月15日（金）～7月16日（月）
開催場所	JINS渋谷店2階イベントスペース
入場料	無料 どなたでもご覧いただけます。

Konstantin Grcic(コンスタンティン・グルッチ)プロフィール



1965年 生まれ。

イギリス・ドーセットのJohn Makepeace School で木製家具職人としての教育を受け、ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）でデザインを学ぶ。1991年に自身のデザインオフィス「コンスタンティン・グルッチ・インダストリアル・デザイン(KGID)」をドイツ・ミュンヘンに開く。以降、デザイン業界を牽引するCassina、Flos、Magis、無印良品、PlankやVitra等の家具や製品、照明などを手がける。2001年に「Mayday」、2006年に「OK」（ともにFlos）、2011年に「Myto chair」（Plank）がコンパッソ・ドーロ賞を受賞するなど、多くの製品が国際的に権威のあるデザイン賞を受賞している。

また、著名な美術館やギャラリーで数多くのデザイン展示を行っている。2018年、オフィスをミュンヘンからベルリンに移転。

©Nacása & Partners
(写真は TYPE BIKEを着用)

JINS×Konstantin Grcic商品特長

TYPE INLAY (タイプ インレイ)

¥5,000 (+税)

カラー展開：クリア、ネイビー、ライトブラウン、ブラック

ブリッジとリム、テンプルとリムの間には、手に取った時に初めてわかるほどの細い線が施されています。

軽量樹脂の成型という現代的な生産方法でつくられたメガネでありながら、その細い線のディテールによってブリッジ、リム、テンプルが別々のパーツとしてつくられ、組み立てられていた頃のメガネの歴史やクラフトマンシップを視覚的に感じることができます。



TYPE CARTOON (タイプ カートゥーン)

¥5,000 (+税)

カラー展開：レッド、ブラウンデミ、ライトグレー、マットブラック

太いマジックで手早く描かれたマンガのようなフレーム。一本の線(ブリッジ部)で2つの丸(リム部)を繋ぎ、それぞれ丸(リム部)の横から2本の線(テンプル)が出ています。マジックで描かれた線同士に少しずつ重なりが生じている様子をディテールで表現しました。



TYPE LINK (タイプ リンク)

¥12,000 (+税)

カラー展開：ダークカーキ、ダークシアン、グレー、マットブラック

メタルとプラスチックの異素材を組み合わせた現代的なデザイン。細くてフラットな断面のメタル素材は、フロントで同一線上に続くようにデザインされており、シャープな印象を与えます。既存の異素材コンビネーションフレームにはないデザインが生まれました。



TYPE NEEDLE (タイプ ニードル)

¥12,000 (+税)

カラー展開：マットブラック、ホワイト、ガンメタル、ゴールド

針のような薄さ細さを追求し、限りなくディテールを排除したシンプルなデザイン。一枚の板状のβチタンをレーザーカットすることで作られています。ヒンジもなく、かけごこちの軽さも特徴です。



TYPE BRACE (タイプ ブレース) ※一部店舗のみ展開

¥8,000 (+税)

カラー展開：イエローベージュ、カーキ、ライトグレー、ブラック

別々のパーツ同士が溶接されていた古いメタルフレームの構造を、軽量樹脂の成型という現代的な生産方法で再解釈。接合金具のようなかたちをした特徴的なブリッジによって、手に取って初めてわかる、視覚的な複雑さを実現したデザインです。



TYPE PRETZEL (タイプ プレッツェル) ※一部店舗のみ展開

¥5,000 (+税)

カラー展開：クリア、レッド、ネイビー、ブラウン

ひとつの長い生地から成型するドイツ発祥のお菓子プレッツェルのように、リムからブリッジ、そして鼻盛りまでも一本のが続いているように見えるデザインです。厚みのあるフレームは、プレッツェルのもつソフトで有機的なイメージを表現しています。



TYPE BIKE (タイプ バイク) ※一部店舗のみ展開

¥5,000 (+税)

カラー展開：クリア、イエローベージュ、ライトブルー、カーキ

二つの車輪のようなリムを高い位置でブリッジがつないでいる、まるで自転車のようなデザインです。すべてのフレームの断面が丸く、チューブのように見えます。ヒンジが隠れたシームレスなラインも特徴です。



TYPE SAFARI (タイプ サファリ) ※一部店舗のみ展開

¥8,000 (+税)

カラー展開：ダークカーキ、ブラウン、グレー、マットブラック

野性的なイメージを、骨っぽいフレームデザインやカラーリングに反映しました。スポーティでファッションナブルな方向性を追求する中で生まれたデザインです。メガネとしてはもちろんスポーツなサングラスとしての使用もおすすです。



本リリースに関するお問い合わせ先

JINS Design Project PR SUPPORT : HOW INC.

TEL 03-5414-6405

FAX 03-5414-6406

Mail pressrelease@how-pr.co.jp